

令和7年度 学校推薦型選抜 人間健康科学部 福祉学科 小論文
出題の意図と解答の傾向

第1問

【出題の意図】

問題文全体の大意を把握するとともに、各設問で求めるものに合致した適切な解答を導きだせるかを問う。その際、作者の主張の中で用いられるキーワードやキーセンテンスを確実に押さえてできるだけ解答文の中に盛り込むようにしてほしい。

設問1

この設問は、問題文では設問2に関する記述の前の箇所で展開される作者の主張である。よって、設問2に関する問題文の箇所に引きずられないようにしてほしい。日本版BADsの行為計画検査に焦点を当てて作者の理解を読み取ることが重要である。その際、設問で検査の意義に触れて解答するよう求めているので、まず作者が述べる検査の意図を簡潔に説明したうえで非行少年たちの心理特性について説明を展開してほしい。

設問2

まず、この設問に関係する問題文の箇所を特定すること。そのうえで、被害感と問題文全体のモチーフになっている「融通が利かない」という非行少年たちの心理特性との関連を明瞭に把握し、それを的確に説明できるかを問うている。その際、非行少年たちが接触した相手に対して悪意をもっていないと善良に解釈する可能性を阻む強い思い込みに陥りやすいことを盛り込むことで説得力のある適切な解答文になる。

設問3

この設問には、設問1や設問2とは異なり解答者の考えを盛り込む余地がある。とはいえ、完全に解答者の独自の考えを展開してもらう問いではないことに注意する必要がある。それは、設問文に「問題文1にある非行少年の心理特性を理解したうえで」や「問題文2を踏まえて」という条件を付けていることから明らかである。したがって、作者が主張する矯正指導の際の重要点をまずは簡潔に説明して、その後でそれらの内容を問題文や解答者自身の補足によって説明展開していくことで題意に沿った適切な解答文が作れることになる。

【解答の傾向】

設問1

問題文で「この検査（日本版BADsの行為計画検査）の意義に触れて」とある。検査の意義を述べていない、もしくは意義ではなく検査の手法を述べている回答が多くみられた。

また非行少年たちの心理的特性については、行為計画検査の結果から判断できることを越えて、本文全体から言える心理的特性について記述している回答が多くみられた。

設問 2

問題文では、「融通が利かないこと」が自らの思い込みを修正できないことにつながり、思い込みが積み続けると、どんどん被害感が強くなると述べている。

「変な被害感があるから思い込みをしている」というように順番を誤っている回答が一部あった。

設問 3

設問 3 では非行少年の心理的特性と少年院における実態を踏まえた矯正指導の意義を踏まえて、自らの考えを述べる必要がある、

多くの回答では矯正指導の意義を述べてない、もしくは矯正指導の実際の方法を述べていた。

第 2 問

【出題の意図】

「令和 5 年版厚生労働白書—つながり・支え合いのある地域共生社会—」（厚生労働省、2023 年）から、「社会参加活動を始めたきっかけ」、「社会参加活動を始めた理由」、「社会参加活動をしていて良かったこと」、「社会参加活動をしなない主な理由」の結果を示し、社会参加活動について出題をした。近年、近隣の人とは会ったときに挨拶する程度の形式的なつきあいを望む割合が増加していることや、コロナ禍で人と直接会う機会を積極的に減らさなければならない状況が生まれたことで、人とのつながりにくさを感じている人も少なくないと考えられる。このような状況下で、孤立を感じている人への支援や助け合いの仕組みを作ることは重要なことである。本学科では、「課題解決を行うための基礎的な思考力・判断力と、自らの考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を備えている」ことをアドミッション・ポリシーの一つに掲げていることから、本入試では、人とのつながりが生まれる「社会参加活動」の現状と課題を分析し、社会参加活動を効果的に促す方法について考えることができる出題内容とした。

【解答の傾向】

設問 1

・ 図 1 から、20 代と 70 歳以降の結果を比較して“言えること”を問う設問であったが、それぞれの年代を比較した結果を述べるにとどまっていた解答が目立った。

・ 図 1 は「社会参加活動を始めたきっかけ」について示したものであったが、その結果のみで、「人とのつながりの希薄化」や「デジタル格差」に言及するなど、個人的な意見を述べている解答が目立った。

設問 2

・ 20 代の社会参加活動に対する特徴を問う設問であったが、その他の世代と比較した解答があった。

- ・図1・2から読み取れる特徴について解答を求めていたが、個人の考えや意見の主張をしている解答が目立った。

- ・図の読み取りができていないと思われる解答があった。

設問3

- ・図の読み取り後に分析ができていないと思われる解答が目立った。

- ・記述内容の多くが、図の読み取り結果となっており、自身の考えや意見が少ない解答が見られた。

- ・有効な施策について具体性（オリジナリティ）に欠ける解答が目立った。

上記の様な傾向から、各設問で問われている内容を理解し、適切に図を分析する力と独自の視点で解答ができる表現力を身に付けて欲しい。また、誤字を減らし、丁寧な文字で記述をすることを心がけて欲しい。